

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 26 年度 第 8 回（11 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 26 年 11 月 13 日（木）午後 6 時 30 分～7 時 25 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、荒木、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、後藤、栗本監事、柴監事
- ◇ 欠席者： 清水
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（10 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

- ・ 臨床検査振興協議会で制作した DVD「みんなの臨床検査」と高校生向けの「医療を支える臨床検査技師」を都道府県技師会に各 2 部配布するとともに追加注文を取ることとした。
- ・ 事務職員（政策調査員）1 名（臨床検査技師、28 歳）を採用した。
- ・ 平成 27 年度から「全員加入保険」に次の保証を付与することとした。
業務中の感染見舞金 HBV 感染 1.8 万円、HCV 感染 18 万円、HIV 感染 60 万円
退職退会後 5 年間の賠償責任保険を継続する（現役時代の検査業務に起因する賠償）
- ・ 業務部課長級正規職員を採用するためホームページで公募した。
- ・ 第 32 回 IFBLS 世界医学検査学会に日本臨床検査自動化学会は併催しない。
- ・ 平成 26 年度精度保証施設認証申請期間を平成 26 年 10 月 1 日～11 月 28 日とした。
- ・ 第 66 回日本医学検査学会開催の担当県に千葉県臨床検査技師会が承認された。
- ・ 平成 27 年度「全国検査と健康展」の中央会場担当を広島県とした。
- ・ 医療人として臨床検査技師を育成できる新たな制度のあり方等について検討し、制度の再構築を行うことを目的とした委員会を設置する。
- ・ 第 64 回日本医学検査学会抄録を Web 化し、CD 抄録を廃止する。また、学会プログラム（A5 版）を事前発送する。

2. 事務局

〈総務部〉10 月 15 日（水）に部会を開催した。

- ・ 近畿支部学会の広報について検討した。
- ・ 会計担当者のメーリングリストについて検討した。
- ・ 大臨技ホームページについて検討した。
- ・ 大臨技ニュース 10 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉10 月 15 日（水）に部会を開催した。

- ・ 9 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 10 月分給与及び事業費を送金した。

〈渉外部〉 10 月 21 日（火）に部会を開催した。

- ・ 平成 26 年度大放技・大臨技合同フォーラムの進捗状況について報告を行った。
- ・ 府民健康フォーラムの進捗状況について報告を行った。
- ・ HIV 予防啓発講演会の進捗状況について報告を行った。
- ・ 検査と健康展の説明を行った。
- ・ 献血推進活動の「のぼり旗」及び「配布用ティッシュ」の検討を行った。

3. 事業局

〈情報組織部〉 10 月 17 日（金）に部会を開催した。

- ・ 多職種合同チーム医療研修会の反省を行った。
- ・ 技師長会のテーマについて検討した。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会を開催した。（10 月 4 日）

テーマ：「初級 ICT 講座」

総参加者数：73 名（大臨技会員 58 名、非会員 15 名）、（他職種：看護師 6 名、薬剤師 1 名）

〈地区事業部〉 10 月 16 日（木）に部会を開催した。

- ・ 検査説明・相談ができる臨床検査技師講習会の企画について最終打合せを行った。
- ・ 近畿支部学会について
 - 広告・展示・共催セミナー（ランチョン、機器・試薬セミナー）について主要メーカー 10 社に声掛けをした。
 - 各発表会場の運営委員の割り振りが必要であるため、学術部と協議し世話人の募集をして行くこととした。

〈学術部〉 10 月 28 日（火）に部会を開催した。

- ・ 近畿支部医学検査学会のシンポジウム等について検討した。
- ・ 第 10 回学術講演会について検討した。テーマは感染症対策の予定。
- ・ 次年度事業計画および予算書の提出期限を決めた。

III 他、報告

1. 第 11 回心エコー実技研修会について（高田 常務理事）

先月の理事会（10 月 9 日）にて、10 月 12 日（日）～13 日（月）開催予定の第 11 回心エコー研修会は、台風 19 号の影響を考慮し延期することとしたが、その後、台風 19 号の接近が当初の予想より遅くなり開催期間中に及ぼす影響が減少することや、役員からのメールによる意見により急遽開催することを決定した。

開催した結果、当日キャンセル 1 名、欠席者が 2 名あったが 100 名以上が参加した。

最終日の 13 日は、JR 全線が 16 時で運転取り止めという状況であったが、参加者の半数が最後まで研修を受け、当状況の中で開催したことに対し参加者から感謝の声もあった。

2. 第 1 回役員候補者選出委員会について（吉本 副会長）

10 月 30 日（木）19:00～20:00 大臨技事務所にて第 1 回役員候補者選出委員会を開催した。

当委員会には、委員として、北地区より松本典久氏、岩津浩子氏、中央地区より辻義則氏、大

西正信氏、久保清夏氏、南地区より池田勝美氏、三平りさ氏および大臨技事務局から運天会長と吉本副会長が出席し、以下について議事進行した。

1) 報告事項

- ・大臨技事務局より大臨技役員候補者選出委員の選出経緯および大臨技役員候補者選出委員会の業務について説明した。

2) 討議・決定事項

- ・委員の互選により辻義則氏が大臨技役員候補者選出委員会委員長に決定した。
- ・委員の任期について、役員任期と同じ平成 27 年 5 月の定時総会終了までを確認し、引き続き平成 27 年 5 月からの 2 年間の委員就任の継続を要請し承諾を得た。
- ・委員会の業務および今後のスケジュールを確認した。
- ・第 2 回委員会を平成 27 年 4 月 2 日（木）19 時から大臨技事務所にて開催する。
- ・役員候補者審議時には現職継続意思、年齢、技師会活動実績、理事会活動実績等を考慮することとした。
- ・役員候補者選出委員会メーリングリストを作成することとした。
- ・平成 27・28 年度大臨技役員改選に伴うスケジュールを以下の通りとした。
 - ① 大臨技ニュース平成 27 年 3 月号に、選出委員氏名、平成 27・28 年度大臨技理事選出に関する公示（公示有効期限：3 月 1 日～28 日）および「役員候補者選出規程」を掲載する。
 - ② 平成 26 年度第 12 回理事会（3 月 12 日開催）にて監事候補者を決定し、平成 27 年 3 月 12 日（木）～4 月 2 日（木）選出委員会へ役員（理事・監事）候補者の届出をする。
 - ③ 第 2 回役員候補者選出委員会（平成 27 年 4 月 2 日（木））にて理事候補者の選出を行い、大臨技ニュース平成 27 年 5 月号に役員（理事・監事）候補者名簿を公示するとともに、会長へ役員（理事・監事）候補者名簿を提出する。また、選出後の役員（理事・監事）候補者から選出委員会へ「役員就任承諾書」を提出する。
 - ④ 平成 27 年度第 2 回理事会（平成 27 年 5 月 7 日（木）開催）にて選出委員長より役員選出経過報告を行う。
 - ⑤ 平成 27 年後定時総会（平成 27 年 5 月 28 日（木））において選出委員長から平成 27・28 年度役員候補者の提案を行う。
 - ⑥ 平成 27・28 年度役員選任後、平成 27 年度第 3 回理事会において、会長、副会長、常務理事を選定する。

3. 第 10 回府民健康フォーラムについて（増田 理事）

11 月 9 日（日）に開催された第 10 回府民健康フォーラムの参加者は、大阪府薬剤師会関係者 95 名、大阪府栄養士会関係者 80 名、大臨技関係者 36 名、府民 45 名の合計 256 名であった。

4. 小寺健一氏 瑞宝双光章 受賞記念祝賀会について（吉本 副会長）

12 月 21 日（日）に開催される標記祝賀会の案内状を 11 月 4 日に、大臨技役員 OB 会メンバー、小寺氏選定者および大臨技現役員の計 131 名に送付し、出欠連絡期限を 12 月 13 日（土）までとした。

当日の司会を高田常務理事、写真係を宮野理事に依頼した。

5. 検体採取に関する厚労省指定講習会について（運天 会長）

臨床検査技師等に関する法律（昭和 33 年法律第 76 号）の一部改正により、平成 27 年 4 月 1 日から臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加されることになったこと、および臨床検

査技師業務の生理学的検査に嗅覚検査、味覚検査が追加される予定であることに伴い、平成 27 年 4 月 1 日から検体採取を行う臨床検査技師は「厚生労働大臣が指定する研修」を受講することが義務付けられた。

これを受け日臨技は「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会実施要領」に基づき、講習会を順位開催することとなった。

近畿支部においては、1 クール目の講習会を大阪府で下記要領により開催することとなった。

- ・開催日程：①平成 27 年 1 月 24 日・25 日、②平成 27 年 2 月 28 日・3 月 1 日、③平成 27 年 3 月 7 日・8 日（計 3 回）
- ・開催場所：関西医科大学 枚方キャンパス
- ・受講料：会員 10,000 円、非会員 30,000 円（受講後修了証書を交付する）
- ・指定講習会の全日程を履修した者には、厚生労働省医政局長と日臨技会長の連名で「修了証書」を交付する。
- ・受講手続き等は日臨技ホームページに掲載される。

大臨技ニュース 12 月号に、日臨技からの案内書「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会の開催及び受講について（お知らせ）」を同封することとした。

6. 平成 27 年度憲法記念日知事表彰候補者の推薦について（吉本 副会長）

大阪府より依頼のあった標記候補者について、今回は該当者無しとした。

7. 入会案内について（吉本 副会長）

大臨技ニュース 12 月号に同封する「平成 27 年度大臨技入会案内」に、日臨技と大臨技の両会への入会を推奨する文言を入れることとした。

8. 日本赤十字社献血功労団体表彰について（運天 会長）

平成 26 年 12 月 19 日（金）に開催される「大阪府献血感謝のつどい」にて、大臨技が献血功労団体として日本赤十字社より「金色有効章」を表彰されることとなった。

表彰式には、当会を代表し運天会長が出席する。

9. 平成 27 年度「全員加入保険」補償内容について（運天 会長）

平成 27 年度から日臨技「全員加入保険」に以下の保証が付与されることとなった。

- ・業務中の感染見舞金として、HBV 感染 1.8 万円、HCV 感染 18 万円、HIV 感染 60 万円。
 - ・現役時代の検査業務に起因する賠償として、退職退会後も 5 年間の賠償責任保険が継続される。
- その他の付与保証についても検討中である。

10. その他

1) 検査説明・相談ができる臨床検査技師育成講習会について（田畑 常務理事）

当講習会の事業報告および決算報告があった。

IV. 議 題

1. 共催申請について（吉本 副会長）

大臨技生理検査部門より、「大臨技生理検査部門特別講演会」（平成 27 年 1 月 21 日開催）の開催に伴う共催申請があり、承認された。

2. その他

1) 大臨技バッジについて（運天 会長）

大臨技役員用として新規の大臨技バッジを作成した。これに伴い、従来から使用の大臨技バッジを渉外部世話人用として使用してもらう提案があり承認された。

以上